

平成27年度 学校経営計画 美作市立勝田中学校

○本校の使命

- 1 生徒に対して …… 豊かな心とたくましく生きる力を育て、次代を担う生徒を育成する。
- 2 保護者に対して …… 相互の連携を深め、共通の目標にたって生徒の教育に努める。
- 3 地域に対して …… 豊かな文化と伝統を守り育てる自覚を持った生徒の育成をめざす。
- 4 教職員として …… 教育目標に向かって、一丸となり特色ある教育活動に努める。

	校内の様子	校外の様子
プ ラ ス 面	・基本的に生徒が落ち着いて生活している。 ・部活動に参加し頑張っている生徒が多い。 ・完全不登校状態の生徒がいない。 ・生徒個々に対する情報が把握しやすく、情報交換も日常的にできる。 ・職員全員協力的に仕事ができる。	・保護者地域の方が学校に対して協力的である。 ・協力的な保護者の存在があり、子どもたちの励みになっている。 ・学区の方は温かい目で見てください。 ・自然に恵まれ落ち着いた学習環境である。
課 題	・学習習慣が定着できていない生徒がいる。(家庭学習・テスト勉強不足) ・向上心、やる気、素直さの低下。 ・自分の意見を発信することを苦手としている。	・人権参観日や自由参観日など保護者の関心が薄いのか参加が少ない。 ・我が子への指導、働きかけに期待しにくい家庭がある。 ・学習意欲を向上させたり、経済観念の成長を促すような社会的刺激が少ない。

○27年度 学校教育目標・本年度の重点

<学校教育目標> 夢をもち 心豊かに たくましく生きる生徒を育てる

<本年度の重点>

- (1) 規範意識と挑戦意欲の育成
 - ・規律ある生活習慣の確立に努める。「あいさつと感謝の心」
 - ・自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。
 - ・いじめ・不登校の未然防止と解消に向けたきめ細かな指導を進める。
 - ・各種行事への自主的な関わりと達成感を養う。
- (2) 個に応じた指導による学力の向上(3つの柱と1つの工夫の徹底)
 - ・「教師の温かいまなざし」を基盤として一人一人を認め、その「よさ」を評価する。
 - ・「明快な目標の提示」と「最後の評価」の一体化。
 - ・「生徒主体の学習活動」・「学び合い」の場の設定。
 - ・家庭と連携し学習習慣の定着を進める。
- (3) 豊かな感性と人権感覚の育成
 - ・道徳の時間を充実させ、内面に根ざした道徳的実践力の育成を図る。
 - ・自他の生命や人権尊重の精神をはぐくみ、人権問題についての正しい理解や実践力を養う。
- (4) 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくりの推進
 - ・保護者、地域との連携、協力に努める。
 - ・積極的な情報発信により地域に開かれた学校を目指す。
 - ・危機対応能力を育成するための安全教育を実施する。
- (5) 小中連携の推進 「学びがつながる9年間」
 - ・自分で考え、判断し、行動できる子どもの育成
 - ・「ひと」とつながることができる子どもの育成

めざす子どもの姿

○本校のめざす姿

○めざす学校像

- ・家庭や地域と連携を深め、共通の目標で生徒の教育に努める学校
- ・落ち着いた学習環境で学びを築く学校

○めざす生徒像

- ・お互いの人格を尊重し共に伸びようとする生徒
- ・自らの夢の実現に向けて努力する生徒
- ・心身ともに健康な生徒

○めざす教師像

- ・授業力の向上に努める教師
- ・影響力を磨く教師
- ・人間性豊かな教師

平成27年度

《つながり 生徒と教職員 学校と地域のつながりを大切に》

①「あいさつと感謝の心」を生徒に育ませたい。

あいさつ→最初のコミュニケーション。

感謝の心→実際の言葉として言える子どもに。(何か他の人の役に立てた、私のことを助けてくれる人がいる。どちらも自己肯定感につながる)

○あいさつのできる生徒に！！

★何か1つのことを徹底して取り組む。→他のことにもつながってくる。

○学年が上がり新しい気持ちで2・3年生も迎えていると思います。1年生は新鮮な気持ちで大きく変わるチャンス。(当たり前のことが当たり前にあいさつ・そうじ・返事)

○温かい人間関係づくりを。クラスの雰囲気や安心できるものに。(一番難しいこと)

正しい判断ができそれが実行に移せる生徒に。これが第1！！

タイムリーな声かけと励ましの言葉を。

○教職員の言動は生徒に大きな影響を与える。

②本校の生徒は、基礎学力の定着が課題。この生徒をどう育てていくか。

★授業の工夫

★授業規律を高める(始めと終わりのあいさつ)

○今年度の取組3つの柱

・明快な目標提示と評価 (この時間に身につけさせたいこと、そしてそれを評価する。できるようになっていること)

・生徒主体の学習活動・学びあい(グループ・協同学習50分の使い方)

・温かいまなざし(生徒の良いところに気づく、分からせたいという本気のまなざしと意欲)

※家庭学習の定着を図るための具体的な取組→自主学習の取組をスタート

すぐには結果が出せないかもしれないけれども、結果につなげていく努力を。授業を飽きさせない。

③行事・部活動を通じて生徒に達成感を。

④教職員の「チーム力」を高める。

○ 仕事は厳しく、人間関係は温かく

・勤務、サービスは厳正に。

・みんなが支え合って励まし合って決して一人にしない温かさと気遣いを。

・何でも話せる職員室に。

○ 気がついたことは互いに伝え合い、共に改善していく姿勢を。

・良いと思ったことは積極的に提案を。

・教師は授業が命、教材研究を怠らずよりよい授業づくりを目指した努力を。

・互いに教育実践を公開し高め合う。

⑤地域や保護者から信頼される教職員をめざして

○ 学校と家庭や地域との連携を深め、ともに子どもたちを育てる土壌を作る。

・教育活動を学校・学年だより等により保護者や地域に発信。

・保護者や地域の願いに耳を傾け教育活動に生かす努力を。

・必要なときはいつでも出かけて相談を。

・保護者や地域の方への気持ちよい挨拶を。

⑥危機管理について

・事故、けが等については最悪のことを想定しながら対応。

・生徒の命を第一に考え救急車の手配、不審者等については警察への連絡、給食異物混入など。

★「起きたことよりも」・・・「起きた後の対応で批判される」ことの方が多い。

・情報管理、体罰、飲酒等

生徒とともに健康に気をつけながら今年も頑張りましょう！！